

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: ペンギンシール2505NEW グレー

会社名: サンスター技研株式会社
 住所: 山梨県南アルプス市宮沢181-1
 担当部門: 品質保証グループ
 電話番号: 055-284-3801
 化学品の推奨用途及び使用上の制限: 建築用シーリング材
 緊急連絡電話番号: 055-284-3801

2. 危険有害性の要約

GHS分類および注意書きを含むラベル要素

健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感受性 皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 吸引性呼吸器有害性	区分外 区分外 分類対象外 分類できない 分類できない 区分外 区分外 分類できない 区分外 区分外 分類できない 区分1A 分類できない 区分外 区分外 分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性 オゾン層に対する有害性	区分外 区分外 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
 危険有害性情報: 発がんのおそれ。

注意書き:
 【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 指定された個人用保護具を使用すること。

【応急処置】

暴露又は暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

密閉し、屋内冷暗所に施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

物質

単一・混合物の区分: 混合物
 一般名: シリコンシーラント
 危険有害成分

	CAS番号	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	含有量(%)	化学物質管理促進法(PRTR法)
オキシムシラン	非開示	非開示	1-10	対象外
シリカ	非開示	非開示	1-10	対象外

ペンギンシール2505NEW

作成日2014年12月16日

4. 応急措置		
吸入した場合:		新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:		気分が悪い時は医師を呼ぶこと。 ただちに皮膚を石鹸と水で洗浄する。洗った後に症状が出た場合は、すぐに医師の診察を受ける。
目に入った場合:		15分以上水で十分に洗い流す。医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合:		無理に吐かせないこと。ただちに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置		
消火剤:		泡、二酸化炭素または粉末消火剤で消火する。
使ってはならない消火剤:		知見なし
特有の危険有害性:		知見なし
特有の消火方法:		火元への燃焼源を断ち、上記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火を行う者の保護:		消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な化学用保護衣を着用する
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置:		保護具を装備していない人の立ち入りを禁止する。着火源を除去する。個人用保護具を使用する。風上から作業する。
環境に対する注意事項:		下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。
回収、中和:		大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
二次災害の防止策:		着火源を除去する。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い		
技術的対策:		物質は静電気に帯電しやすく、放電を起こすことがある(発火源)。適切なボンディングおよび/または接地を行うこと。
安全取扱い注意事項:		取扱いは保護眼鏡、保護手袋、呼吸用保護具を使用する。着火源から離して保管する—禁煙。湿気を遮断すること。開封後の容器はシールし、できるだけ早く使い切る。硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)が発生する。換気のよい場所でのみ取り扱う。蒸気およびスプレーミストの吸入を避ける。
保管		
保管条件		密閉し、屋内冷暗所に保管する。
8. 暴露防止及び保護措置		
設備対策:		適切な全体換気・局所排気装置を設置する。 清潔な水の入った洗眼用ボトル。
保護具		
呼吸器の保護具:		MEKO濃度が暴露限界濃度(推奨される作業環境暴露濃度ガイドラインは8時間TWAで3ppm以下)を超えた場合には有機ガス用ガスマスクを着用す
手の保護具:		ゴムまたはビニール手袋
眼の保護具:		眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:		耐化学性衣服、安全靴
9. 物理的及び化学的性質		
外観(物理的状態、形状、色など):		灰色ペースト
臭い:		ケトン類
pH:		該当せず
融点/凝固点:		該当せず
沸点、初留点と沸騰範囲		該当せず
引火点:		81°C
燃焼又は爆発範囲の下限、上限:		データなし
蒸気圧:		該当せず
蒸気密度:		データなし
比重(密度):		約1.03
溶解度:		不溶性
n-オクタノール/水分配係数:		データなし
自然発火温度:		450°C
分解温度:		データなし

ペンギンシール2505NEW

作成日2014年12月16日

10. 安定性及び反応性

安定性: 常温では安定
危険有害反応可能性: 知見なし
避けるべき条件: 熱、火花、裸火から離しておく。
混触危険物質: 湿気。
 強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解がおこる。
 可燃性
 引火性
危険有害な分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素、水以外): 水/湿分と反応してメチルエチルケトオキシム(MEKO、2-ブタノン-オキシム)を生成する。
 空気中において、おおよそ150°C(300°F)以上加熱すると酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性:
急性毒性(経口) データなし。
急性毒性(経皮) データなし。
急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) データなし。
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) データなし。
皮膚腐食性および皮膚刺激性 データなし。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 データなし。

本品が、水や空気中の湿気との接触時および硬化時に発生するメチルエチルケトオキシム(MEKO)の有害性

皮膚刺激性 軽度の皮膚刺激性あり。
眼刺激性 強い刺激性あり。腐食性の障害を生じることもある。
急性経口毒性 ラット LD50 4ml/kg
急性吸入毒性 ラット LC50 >4. 8mg/l/4H
吸入毒性 高濃度で一時的な麻酔作用がある。
 血液の機能への影響がある。
皮膚感作性 陽性(モルモット)。人に対するアレルギー反応はなし。
神経毒性 高濃度で一時的な運動機能低下(ラット)
発癌性 高濃度(375ppm)でのラット及びマウスの生涯試験(約2年間)でオスにのみ肝腫瘍の発生が見られた。
その他の長期暴露試験 ラット及びマウスでの嗅覚上皮細胞の退化が観察された。
 許容濃度：TWA 3ppm(原料供給者推奨値)、STEL10ppm内になるよう十分換気し、維持管理すること。
 AIHAのWEEL勧告値は、TWA10ppmである。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 データなし
水生環境慢性有害性 データなし
残留性・蓄積性 データなし
生態蓄積性 データなし
土壌中の有害性 データなし
オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:
 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:
 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

ペンギンシール2505NEW

作成日2014年12月16日

14. 輸送上の注意**国際規則**

国連分類: 非該当
国連番号: 非該当
緊急時応急指針番号: 非該当
仕向け地の法律に従う。

国内規制

陸上輸送: 消防法に定められている輸送方法に従う。
海上輸送: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送: 航空法に定められている輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令**労働安全衛生法:**

名称等を通知すべき危険物及び有害物(57条の2): ・シリカ

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(通称 PRTR法) 該当物質なし

消防法: 指定可燃物 可燃性固体類(3トン以上の場合)

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準:(日本シーリング材工業会)ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定

ペンギンシール2505NEW :JAIA-004081 F☆☆☆☆

参考文献

- 1) 化学物質の危険・有害性便覧(中央災害防止協会)
- 2) 有機溶剤作業主任者テキスト(中央災害防止協会)
- 3) 許容濃度等の勧告(2005年、日本産業衛生学会)
- 4) ACGIH(2005年、日本作業環境測定学会)

この製品安全データシートに記載の内容は、最善の調査に基づき現時点で入手できた情報により作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保証をするものではありません。本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。尚、法改正や新しい知見、製品の改良等に伴い、予告なく製品安全データシートを改訂する場合があります。